北海道大学

大学院獣医学研究院
大学院獣医学院
獣医学部

年　報

（平成28～29年度）

平成30年12月

北海道大学　大学院獣医学研究院　大学院獣医学院　獣医学部　年　報　（平成28～29年度）

平成30年12月

平成 28-29 年獣医学研究院・獣医学研究科・獣医学部年報の発刊にあたって

北海道大学大学院獣医学研究院長・獣医学部長　堀内　基広

第三期中期期間に入り，大学の機能分化が加速化されつつある。運営費交付金の削減により国立大学の財政基盤が脆弱化する一方で，教育研究により培われた成果を資源として，あるいは独自の経営戦略によって大学独自の増収を図り，国費への依存度を抑えた大学運営体制の構築が，今後の課題となっている。大学に身を置く教員一人一人が，真理の探求，高度人材育成，ならびに研究成果や科学的識見をもって社会に貢献できることに喜びと誇りを感じつつも，この変革の波を意識し，時代の流れを先導するために自己改革および組織改革に取り組まねばならない。

獣医学研究科（現獣医学研究院）は人獣共通感染症リサーチセンターとともに，21 世紀 COE プログラム，GCOE プログラムなどの大型研究プログラムを組織的に運営し成功裏に導き研究力を強化してきた。また，博士課程教育リーディングプログラム「One Health に貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラム」，大学改革強化推進補助金「国立獣医系 4 大学群による欧米水準の獣医学教育実施に向けた連携体制の構築」，あるいは大学の世界展開力強化事業「日本とタイの獣医学教育連携：アジアの健全な発展のために」などにより大学院教育改革，獣医学教育改革，ならびに国際化を積極的に進めてきた。その成果は，獣医学院と国際感染症学院の開設（平成 29 年度）へと発展し，本刊の発行直前には，平成 30 年度の卓越大学院プログラムに，本研究院と人獣共通感染症リサーチセンターが中心となり北海道大学から申請した「One Health フロンティア卓越大学院」が採択されるという朗報も飛び込んできた。さらに，獣医学部と帯広畜産大学で実施する共同獣医学課程の教育体制・内容が国際水準にあることを担保するために欧州獣医学教育確立協会（The European Association of Establishments for Veterinary Education，EAEVE）による認証取得を目指して教育改革に邁進してきたが，平成 31 年度に本審査を受けるところまで漕ぎ着けた。

これらの成果に奢ることなく，謙虚に日々の活動を振り返り検証し，さらなる高みを目指すために必要な事項を整理して実施する動機付となるのが，この自己点検・評価である。獣医学研究院・獣医学部の構成員とって，日々の活動を省みて明日への糧となるものであり，また，この 2 年間の活動を振り返り，より一層，社会の要請・要望に応えられるよう，プロフェッショナルとしての立場を再認識する機会でもある。教育研究活動の質保証（Quality assurance）が求められる時代，継続的な組織改善・改革に取り組む自浄能力の研鑽は必須である。常に自身の活動を分析し，周囲からの意見を真摯に受け止め，改善すべき点は臨機応変に改善し，日本，ひいては世界の獣医学を先導する大学として，質の高い教育研究活動を継続することを，本報告書の発刊にあたり再確認したい。

目　　次

Ⅰ　獣医学研究院・獣医学院・獣医学部の概要

1. 概要・教育目標等 …… 3
2. 沿革 …… 9
3. 組織 …… 11
4. 中期計画 …… 15
5. 獣医学研究科・獣医学部学年暦（行事予定表） …… 20
6. 獣医学研究院・獣医学院・国際感染症学院・獣医学部学年暦（行事予定表） …… 21

Ⅱ　教室活動状況

基礎獣医学分野

解剖学 …… 25

生理学 …… 34

生化学 …… 36

薬理学 …… 41

応用獣医科学分野

放射線学 …… 45

実験動物学 …… 50

環境獣医科学分野

毒性学 …… 54

野生動物学 …… 72

臨床獣医科学分野

獣医内科学 …… 78

獣医外科学 …… 88

比較病理学 …… 94

繁殖学 …… 99

動物分子生物学 …… 107

病原制御学分野

微生物学 …… 111

感染症学 …… 121

寄生虫学 …… 133

衛生学分野

公衆衛生学 …… 140

獣医衛生学 …… 151

附属動物病院 …… 155

Ⅲ　研究活動状況

1. 学術論文数，招待講演数，国際シンポジウム発表件数，博士課程学生による発表，
知的財産並びに受賞数 …… 169
2. 受賞状況 …… 169
3. 科学研究費の採択一覧 …… 172
4. 科学研究費等の採択状況 …… 174
5. 外部資金獲得状況 …… 175
6. 研究員の採用・受入れ …… 176
7. 獣医学研究談話会開催状況 …… 176

Ⅳ　教育活動状況

1．大学院

（1）学生数（定員含む）…… 181
（2）入学者数（社会人学生・留学生受け入れ状況含む）…… 181
（3）研究生・科目等履修生・特別聴講学生等受入状況 …… 182
（4）各種支援採用者数（LP 各種事業，TA，TF，RA）…… 182
（5）入学料・授業料免除適用者数 …… 183
（6）就職説明会・キャリアパスセミナー …… 183
（7）博士課程修了者数 …… 184
（8）修了者の進路状況 …… 184
（9）学位論文一覧 …… 185

2．学部

（1）北海道大学・帯広畜産大学共同獣医学課程の教員構成 …… 190
（2）学生数（定員含む）…… 190
（3）入学者選抜の種類，志願者数，定員，入学者数 …… 191
（4）出身高校の所在地（総合入試の学生を含む）…… 191
（5）学生の在籍期間と分布と平均 …… 192
（6）卒業に必要な単位数・進級要件 …… 192
（7）教室配属学生数 …… 192
（8）獣医学部に進学した総合入試（理系）による入学者の GPA …… 193
（9）2 年次進級の獣医学部生の全学教育の GPA 平均値 …… 193
(10) 獣医学部生（1 年次）の全学教育の GPA 平均値と TOEFL-ITP の平均値 …… 193
(11) 卒業論文研究内容の原著論文としての公表状況 …… 193
(12) 授業料免除適用者数 …… 193
(13) 奨学金貸与・受給状況 …… 193
(14) 就職説明会実施状況 …… 194
(15) 卒業者数・卒業者の進路状況 …… 195
(16) 国家試験合格率 …… 195

3．FD 開催状況

…… 196

Ⅴ　社会貢献・産学連携活動状況

1. 地域社会への貢献
(1) 自治体・他機関等との連携協定 …… 199
(2) 公開講座及び講演会等開催状況 …… 200
(3) 審議会・委員会等参加状況 …… 200
2. 産学連携等
(1) 外部資金獲得状況 …… 201
(2) 知的財産権の出願・取得状況 …… 201
(3) 産業創出講座等 …… 201

Ⅵ　国際交流活動状況

1. 国際交流協定締結状況 …… 205
2. 国際化に関連したプログラム等 …… 206
3. 外国人留学生数 …… 206
4. 学生の派遣実績 …… 208
5. 学生の海外への派遣（出張）延べ人数 …… 209
6. 教員の海外への派遣（出張）延べ人数 …… 209
7. 外国人研究者の受入れ延べ人数 …… 209
8. 国際学会，国際シンポジウム，国際研究集会等の主催状況 …… 210

Ⅶ　広報活動状況

1. 広報誌・印刷物等一覧 …… 213
2. プレスリリース（研究発表・その他）…… 214
3. 入試広報（オープンキャンパス・入試説明会）…… 215
4. 北海道大学ホームカミングデー　部局主催行事 …… 215

Ⅷ　附属動物病院・共同利用施設・図書

1. 附属動物病院 …… 219
2. 動物施設 …… 222
3. 獣医標本施設 …… 223
4. 共同利用機器施設 …… 224
5. 図書 …… 225

Ⅸ　添付資料

第３期中期計画と取組・実績 …… 229